

No.	令和年	月	定例臨時の別	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
1	7	3	定例	予算特別委員会	企画経営部	財政課	村松議員	財政状況の厳しさについての説明責任を果たし、議会・市民・職員が理解して危機意識を共有するために、せめて新規拡充事業や上乗せ事業は各査定段階の予算の編成過程を公表すべき。	情報共有の必要性は理解しているが、予算編成過程を公表することにはメリット・デメリットの両面があることから、その目的を十分議論して検討すべきと考える。	意思形成過程の途中段階の情報が公表されることで情報が煩雑になり、不明瞭になるなどの懸念がある。また利害関係者との調整などに課題がある。	未済	新規・拡充事業の査定とも関係することから、公表の手法については関係課と連携して議論・研究していく。
2	7	3	定例	予算特別委員会	都市整備部	住まいづくり推進課	桑原議員	市営住宅の空き駐車場を月極駐車場として利活用し、少しでも財源確保をすべき。	答弁なし。	コインパーキングは、令和4年度から安倉西住宅で導入済みである。 個人に市が直接駐車場を貸すことは、管理運営が煩雑となるため、現在の体制では難しい。 民間事業者に貸すには、事業が成り立たなければ導入できないため、民間事業者に調査を依頼し、検討を進める。	未済	月極駐車場などの民間への目的外使用については、駐車場を運営する事業者に対し、導入可能性の有無を指定管理者を通じて照会している。
3	7	3	定例	予算特別委員会	都市整備部	住まいづくり推進課	大島千議員	市営住宅の空き住戸を生活困窮者の支援事業のために活用することについて、他部署と連携しながら検討して欲しい。	現在、社会福祉法人に対し、障害者のグループホームとして2戸目的外使用許可をしている。 今後も生活困窮者の支援事業を行いたい事業者があれば、福祉部署と連携しながら目的外使用許可を検討することとなる。	生活困窮者の支援事業を行いたい事業者があれば、福祉部署と連携しながら目的外使用許可を検討する。	済	
4	7	3	定例	予算特別委員会	学校教育部	教育研究課	浅谷議員	第2次GIGAスクール推進計画におけるICT活用スキルチェックリストの記載内容が「ワードが使える」「エクセルが使える」などレベルが低い。先生が授業においてタブレット端末を活用できるような内容にすべきである。	当該チェックリストは、県費教職員に向けて県が作成した内容を、本市のICT環境に合わせて市が作成した。本市教職員のスキルを確認しながら、授業での活用という観点で内容を再度検討する。	当該チェックリストはステップ0(5問)、ステップ1(6問)、ステップ2(7問)と難易度の段階別に示している。ステップ0の内容は容易であるものの、ステップ2は効果的な活用に向けたレベルの高い内容である。教職員の授業での活用を促進するという観点から、スキルチェックの内容・表現等を検討し、教職員一人一人のスキルアップに努める。	未済	県費教職員に必要とされているスキルの習得を前提に、本市のICT環境の実態を踏まえ、授業での活用に資するものという観点で検討し、第3次GIGAスクール推進計画に反映する予定である。

No.	令和年	月	定例臨時	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点 ・今後の方針	処理状況	処理状況説明欄
1	7	6	定例	本会議	都市安全部	公園河川課	泉議員	公園の防犯カメラの点検の実施を要望する。	今後はカメラの動作確認などを定期的に行い、適正な機器の点検管理に努める。	職員による定期的な動作確認を行う。	未済	今年度は8月中を目途に順次確認を行う予定。
2	7	6	定例	本会議	都市整備部	住まいづくり推進課	北山議員	マンション管理については、築40年を超え管理が難しいマンションが増えており、管理不全マンションになるのを防ぐことが急務である。 神戸市や芦屋市など管理組合に対し管理状況の届出を義務化する自治体が出てきている。 本市もマンション管理については、10年、20年先をみた中長期的な視点で今手を打つべきである。	中長期的な考えでマンション管理に取り組み、国の動きや先進事例を研究しながら積極的に取り組んでいきたいと考えている。	本市では、実態調査を計画改定の際に実施するとし、管理状況の把握は一定できている状況。 届出制度を導入した場合、提出しない管理組合への対応や、第三者によるチェック機能がないため届出内容の精査が難しいなどの課題がある。 管理状況が要支援の管理組合への支援施策も合わせて導入する必要がある。	未済	他市の実施状況や国の動向を注視し、本市でのニーズも踏まえ調査・研究していく。
3	7	6	定例	本会議	健康福祉部	障害福祉課	田中議員	精神障害(がい)者に対するバス会社の運賃割引制度導入に向けて、市として取り組んで欲しい。	精神障害(がい)者に対する運賃の割引制度について、令和7年1月から阪急電鉄および阪神電鉄、令和7年4月からJR西日本が電車の運賃に関する割引制度を導入された。市内を通るバス会社の精神障害(がい)者への運賃に関する割引制度については、現在導入されていないため、「宝塚家族会」とともにバス会社に対し、要望を行っていく。	「宝塚家族会」が、精神障害(がい)者のバス利用に関するアンケートを実施される予定と聞いており、今後はアンケート結果を踏まえ、精神障害(がい)者が身体障害(がい)者及び知的障害(がい)者と同じ位置付けとなるよう、「宝塚家族会」とともに市内を通るバス会社への要望を予定している。	未済	「宝塚家族会」が、精神障害(がい)者のバス利用に関するアンケートを実施予定と聞いている。今後はアンケート結果を踏まえ、精神障害(がい)者が身体障害(がい)者及び知的障害(がい)者と同じ位置付けとなるよう、「宝塚家族会」とともに市内を通るバス会社への要望を予定している。
4	7	6	定例	本会議	子ども未来部	子ども政策課	藤岡議員	ユニセフ提唱の世界的な活動である「子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)」について、令和6年9月議会で実践に向けた検討を進める旨の答弁をいただいたが、新市長の下での方針を問う。	子ども施策・事業への子どもの視点の反映を進めるため、実践している他の地方自治体の状況等も踏まえながら、対応を検討していく。	答弁に同じ	未済	既実践自治体や過去に当該事業について関心を示していた自治体に対し、進捗状況や実践に向けての課題等を調査し、検討を進めていく。
5	7	6	定例	本会議	子ども未来部	子ども政策課	浅谷議員	放課後に子どもが安心して過ごせる居場所について、校区ごとに調査し可視化して欲しい。	子どもの居場所として、児童館や放課後子ども教室を整備している。子どもの多様なニーズに応えるため、校区に限らず、居場所の整備・可視化を進めていく。	答弁に同じ	未済	子どもの居場所について、公設の居場所を対象に整備・可視化を進めていく。
6	7	6	定例	本会議	子ども未来部	アフタースクール課	北野議員 村松議員	放課後の子どもの多様な居場所づくりに関して、新市長は「本格的に全体を見直す予定」との方針を示されているが、どのように進めていくのか。	待機児童対策としては、民間放課後児童クラブの新設整備だけでなく、地域児童育成会の拡充、放課後の子どもの多様な居場所づくりなど、様々な可能性を検討する。また、広く放課後の居場所のあり方を整理するため、地域の資源の現状や今後の人口推計、ニーズなどの分析を進めるとともに、先進地の事例などを参考に新たな受け皿の検討を進める。	答弁に同じ	未済	学校の運動場・空き教室のほか、公民館、児童館などを子どもの放課後の遊び場や学び場として活用するなど、新たな子どもの居場所づくりについて、先進地の取組などを参考にしながら、関係部署と連携し検討していく。
7	7	6	定例	本会議	環境部	生活環境課(霊園・火葬場担当)	北山議員	超高齢社会の進行により、死亡者が年々増加し、火葬待ちが多くなっている。火葬場職員の体制の強化や、友引日を開場するなど火葬待ちの日数を減らすよう具体的な対策を行うことを要望する。	本年1月に火葬待ちの件数が多く発生した。これを受けて、1月中旬に火葬受入れ枠を増やし、待ちの日数の短縮に努めた。火葬までの日数が、長くなってしまったことを重く受け止めている。火葬待ちで迷惑のかからないよう、予約枠を増やすなど、火葬場利用の需要に対応する。	インフルエンザの流行など亡くなられる方の増える繁忙期を察知し、早めに火葬の予約枠や市民優先枠を増やすなどの対応を行う。 また、今年度冬期において、試行的に特定の友引の日を開場し、来年度からの友引の日の開場について、研究する。	未済	火葬炉の更新期間においては、状況に応じて、市民優先枠を増やす。今年度の冬期においては、試行的に特定の友引日を開場する。